

R7.2.19 第8回 研究大学コンソーシアムシンポジウム
地域中核・特色ある研究大学の振興について

文部科学省科学技術・学術政策局
産業連携・地域振興課拠点形成・地域振興室

平野 博紀

多様で厚みのある研究大学群の形成に向けた支援の在り方について

国際卓越研究大学が、世界最高水準の研究大学へと成長し、日本全体の研究力向上を牽引していくためには、大学ファンドによる支援を通じて大学の機能拡張を加速することが重要。同時に、多様で厚みのある研究大学群の形成に向けては、地域の中核・特色ある研究大学等への支援を一体的に進めていくことが必要。

日本全体の研究力発展を牽引する研究システムを構築



大学の研究基盤の強化

- **共同利用・共同研究機能の強化**や分野・組織に応じた研究基盤の共用を推進(例：共同利用・共同研究システム形成事業学際領域展開ハブ形成プログラム)*
- 研究・産学連携等を目的とした**拠点形成やインフラの強化**(例：世界トップレベル研究拠点プログラム、共創の場形成支援プログラム、スタートアップ・エコシステム共創プログラム、施設整備の新增改築)*
- 基盤的経費や競争的研究費（人材育成、基礎研究振興、産学連携促進）による支援を通じた全国の国公私立大学の**研究力の向上**

*国際卓越研究大学の体制強化計画に記載され助成の対象となる取組と当該事業による取組で重複が生じないものについて支援

高等教育全体の活性化・質の向上

- 大学教育の質の向上に関する改革を推進するため、国公私立の設置形態を超えた競争的環境の下、**大学の優れた取組を重点的に支援***

(例：卓越大学院プログラム、大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業)

*国際卓越研究大学であることをもって各事業からの支援の扱いに差異を設けない。ただし、研究に係る支援が含まれる場合には、国際卓越研究大学の体制強化計画に記載され助成の対象となる取組と当該事業による取組で重複が生じないものについて支援

大学ファンドからの博士課程学生支援

- 優秀で志のある博士後期課程学生が研究に専念するための経済的支援(生活費相当額及び研究費)及び博士人材が産業界等を含め幅広く活躍するためのキャリアパス整備（企業での研究インターンシップ等）を一体として行う実力と意欲のある大学を支援*

*原則として、国際卓越研究大学については、国際卓越研究大学の体制強化計画初年度から、次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）の支援対象から除くものとする（前年度からの博士後期課程学生の継続支援分も含む）

※地域中核・特色ある研究大学強化促進事業、大学・高専機能強化支援事業、国立大学経営改革促進事業については、各大学のミッションに基づく研究大学の実現等に向けた、経営改革、組織改革に主眼を置き大学全般に対して支援を行う事業であり、国際卓越研究大学が世界最高水準の研究大学の実現に向けた全般的な支援を行う事業であることとの重複が想定されるため、大学ファンドからの助成との重複受給を不可としている。

※競争的研究費（研究・産学連携等を目的とした拠点形成に対する支援を行う事業を除く）については、大学ファンドによる助成と性質が異なるため、国際卓越研究大学であることをもって各事業からの支援の扱いに差異を設けることをしない。（例：科学研究費助成事業、創発的研究支援事業）また、個人への教育研究に係る支援を行う事業についても、国際卓越研究大学に所属することをもって各事業からの支援の扱いに差異を設けることはしない。（例：奨学金制度、特別研究員制度）

背景・課題

- 近年、我が国の研究力の低下が指摘されている中、**日本全体の研究力の発展をけん引する研究大学群の形成のため**には、大学ファンドによる国際卓越研究大学と、**地域中核・特色ある研究大学*が共に発展するスキームの構築が必要不可欠**
 - * ①強みを持つ特定の学術領域の卓越性を発展させる機能、②地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する機能、③地域産業の生産性向上や雇用創出を牽引し、地方自治体、産業界、金融業界等との協働を通じ、地域課題解決をリードする機能：これらのいずれか又は組み合わせた機能を有する大学
- そのためには、地域中核・特色ある研究大学が、特色ある研究の国際展開や、地域の経済社会や国内外の課題解決を図っていけるよう、特定分野の強みを核に大学の活動を拡張させるとともに、大学間での効果的な連携を図ることで、研究大学群として発展していくことが重要

事業内容

研究力の飛躍的向上に向けて、**各大学が10年後の大学ビジョンを描き、そこに至るための、強みや特色ある研究力を核とした経営戦略の下**、大学間での連携*も図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップの実現に必要なハードとソフトが一体となった**環境構築の取組を支援**

* 連携を行うことが目的ではなく、学内に不足するリソースや課題を戦略的に補完するために連携

【事業概要】

- 事業実施期間：令和5年度～（5年間、基金により継続的に支援）
- 支援件数：25件（令和5年度採択：12件、令和6年度採択：13件）
- 支援対象：
 - 強みや特色ある研究や社会実装の研究拠点（WPIやCOI-NEXT等の拠点形成事業、地方自治体・各府省施策、大学独自の取組等によるもの）等を有する国公立大学のうち、**研究力の向上戦略を構築した上で、全学としてリソースを投下する大学**
 - ※ 5年度目を目途に評価を行い、進捗に応じて、必要な支援を展開できるよう、文部科学省及びJSPSにおいて取組を継続的に支援（最長10年を目的）
- 支援内容：5年間、基金により継続的に支援 最大55億円程度
 - A) **戦略的実行経費**（最大25億円程度（5億円程度／年）／件）
研究戦略の企画・実行、技術支援等を行う専門人材の件費、調査その他研究力の向上戦略の実行に必要な経費
 - B) **研究設備等整備経費**（最大30億円程度／件）
研究機器購入費、研究・事務DX、研究機器共用の推進を含む研究環境の高度化に向けて必要となる環境整備費等



◆信州大学

水関連先鋭研究を核に、研究の卓越性、イノベーション創出、地域貢献を三本の矢として一体推進する

◆ 参考機関

山梨大学／東京大学／名古屋大学／東京理科大学／ダルエスサラーム大学／ネルソン・マンデラアフリカ科学技術大学／エルドレッド大学／チュロンコン大学／モンクット王工科大学ラートクラバン校／ヴェトナム国家大学／北京化工大学／サウジアラビア海水淡水化公社

＜取組内容の概要＞

● 新しい学問分野 **アクア・リジェネレーション (ARG)**

水や水由来の水素エネルギーの生成・利用など水を中心とする地球環境の再生に関わる諸学術分野 (SDGs6) を「**アクア・リジェネレーション**」(ARG)と定義し、地球規模での課題解決、社会実装、そして新産業創出をリードする。

● 水関連先鋭研究を核とした取組 (卓越性)

ARG分野における卓越した研究者を集約するため、**ARG機構を新設**するとともに、**PI分の承継ポストを増設**。PIの下に研究者等を配置し、**ユニットで研究を深化**する仕組みを構築。主たる研究拠点として、**アクア・リジェネレーション共創研究センター (松本キャンパス) を新築**するなど、**ARG機構にヒト・モノ・カネを集約、環境を整備**することより、多様で卓越した研究を創出。

● 国際共創と人材育成の強化 (イノベーション)

ARG機構と連動した大学院 (修士・博士) を新設 (計画中) し、**研究・教育の一体推進**を行うとともに、水問題が深刻な国々から人材とニーズを受け入れ、国際的な共創 (**海外実証**) と人材育成を強力に推進。

● 地域との連携による実証タウンの形成 (地域貢献)

水とエネルギーの無限循環・地産地消システムを開発し、**経済成長とサステナビリティが両立**するCN社会の実現を目指す。水の惑星地球の再生を、水が豊富な信州から先導するため、松本市・飯田市、企業と連携の上、「**実証タウン**」を構築。地域に軸足を置きながら**グローバルな課題解決のシナリオを具現化**。

大学改革

— ARG分野を中心とした研究力強化戦略 (VGSU構想) の実現 —

※ VGSU構想：研究・教育・社会貢献での特色や強みを伸ばし(Extend)、信州地域はもとより、周辺地域の研究機関や産業界、国際社会とも広域かつ深淵な連携を広げ(Expand)、社会を豊かにし、より良い未来を創る(Enrich)

◆岡山大学

地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学～持続可能な社会を実現させる10年構想～

◆ 参考機関

筑波大学／東京大学／東京科学大学／山梨大学／大阪大学／山口大学／理化学研究所／自然科学研究機構／津山工業高等専門学校

＜取組内容の概要＞

● 世界と伍するイノベーションと研究者の育成システムの実現

研究の卓越性を先鋭化させる「高等先鋭研究院システム」を構築。研究分野の競争性を保ちつつ、研究IRに基づいて大学が強みを持つ研究領域にリソースを傾注することで、研究の厚みや流動性、多様性等を生み、世界と伍するイノベーションと研究者の育成システムの実現を目指す。

● 共生型連合体を設置し社会変革を推進

「**国家戦略特別区域 (デジタル田園健康特区)**」に指定されている**岡山県吉備中央町**や、同じく国家戦略特区 (スーパーシティ) に関連する**筑波大学**等と連携し、医療分野から同区を盛り上げ、社会変革を推進し、**イノベーション創出によるWell-being社会の実現**を目指す。

● イノベーション創出のメッカとなる研究基盤の整備

先端設備の充実と技術人材の高度化によるシナジー効果の創出を図り、我が国全体を含めたイノベーション創出のための研究基盤整備を目指す。

● 知識により社会変革を起こすナレッジワーカーを育成

事務職員・技術職員等を高度化することで研究者と対等に大学運営に携わることのできる環境を構築。

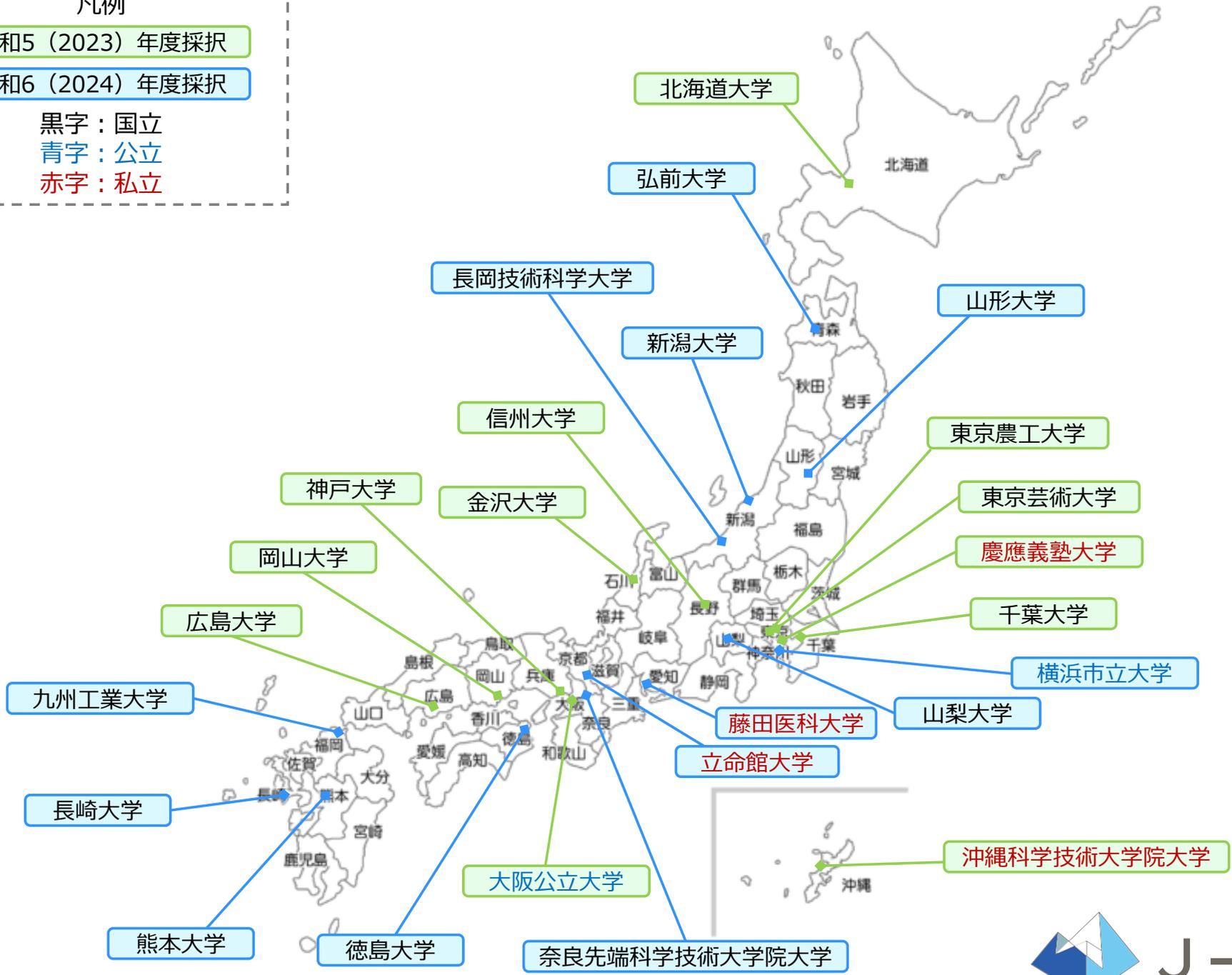
- 研究者・URA・技術職員・事務職員間を相互に行き来できる複線型人事制度の導入
- 教員の機能分化による研究活動最適化などの人事制度改革
- 全技術職員を1組織に統括し、職階を整理し、キャリアパスを明確化。技監制度導入で大学経営に参加へ。



地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS) 採択大学一覧

凡例

- 令和5 (2023) 年度採択
- 令和6 (2024) 年度採択
- 黒字 : 国立
- 青字 : 公立
- 赤字 : 私立



地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

令和5年度採択大学一覧 (1/2)

※記載内容は提案大学から提出された申請調書を基に記載

国/公/私	提案大学 (連携大学※) 参画機関※	
国立大学 (9)	北海道大学 The University of Melbourne/University of Massachusetts Amherst/北海道立総合研究機構/室蘭工業大学/小樽商科大学/帯広畜産大学/北見工業大学	フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムの構築と展開
	千葉大学★ 東京大学/筑波大学/東京理科大学 生命医科学研究所/理化学研究所/量子科学技術研究開発機構/University of California San Diego, Center for Mucosal Immunology/University of California San Diego, Allergy and Vaccine/University of California San Diego, Center for Microbiome Innovation	免疫学・ワクチン学研究等を戦略的に強化し、成果の社会実装に繋がるとともに、取組を学内に横展開する
	東京農工大学★ (電気通信大学/東京外国語大学) University of Hawai'i at Mānoa/The University of Queensland	西東京の三大学が食とエネルギー研究を海外展開し、国際イノベーション創出するための研究力強化を推進する
	東京芸術大学★ (香川大学) 東京大学/東京医科歯科大学/東京工業大学	アートと科学技術による「心の豊かさ」を根幹としたイノベーション創出と地域に根差した課題解決の広域展開
	金沢大学★ (北陸先端科学技術大学院大学) 東京大学	予測不可能な時代の社会変革を主導する文理医融合による非連続的なイノベーションを起こす世界的拠点の形成
	信州大学★ 山梨大学/東京大学/名古屋大学/東京理科大学/ダルエスサラーム大学/ネルソン・マンデラアフリカ科学技術大学/エルドレッド大学/チュロンコン大学/モンクット王工科大学/ラートクラバン校/ヴェトナム国家大学/北京化工大学/サウジアラビア海水淡水化公社	水関連先鋭研究を核に、研究の卓越性、イノベーション創出、地域貢献を三本の矢として一体推進する
	神戸大学★ (広島大学) 大阪大学/理化学研究所/The University of Manchester/Université de Toulouse/The University of Illinois at Urbana-Champaign/National University of Singapore/The University of Texas at Austin	バイオものづくりの卓越した基礎研究と社会実装の両輪で世界をリードするイノベーションを継続的に創出
	岡山大学★ 筑波大学/東京大学/東京工業大学/山梨大学/大阪大学/山口大学/理化学研究所/自然科学研究機構/津山工業高等専門学校	地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学～持続可能な社会を実現させる10年構想～
	広島大学★ (神戸大学) 東北大学/東京医科歯科大学/東京工業大学/豊橋技術科学大学/高エネルギー加速器研究機構/アリゾナ州立大学/パデュー大学	放射光による物質の見える化技術を核とした半導体・超物質及びバイオ領域融合型産業集積エコシステムの実現

※連携機関のうち、括弧内は「連携大学」(本事業の経費を活用の上、研究力の強化を図る大学)、小文字はその他「参画機関」

※★印は地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業の採択大学

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS） 令和5年度採択大学一覧（2/2）

※記載内容は提案大学から提出された申請調書を基に記載

国/公/私	提案大学（連携大学※） 参画機関※	
公立大学 (1)	大阪公立大学★ （長岡技術科学大学） <small>東北大学／奈良女子大学／徳島大学／大阪公立大学工業高等専門学校／ニューメキシコ大学／ ブラウン大学／王立ブロンベン大学／国立台南大学／バンヤピワット経営大学</small>	イノベーションアカデミー事業の推進によるマルチスケールシ ンクタンク機能を備えた成熟都市創造拠点の構築
私立大学 (2)	慶應義塾大学★ （沖縄科学技術大学院大学） <small>King's College London／University of Cologne／Yonsei University／Northwestern University</small>	智徳の協働で、多様な研究拠点を生み出し育む「土壌」を醸成 し、比類なき研究で未来のコモンセンスをつくる
	沖縄科学技術大学院大学★ （慶應義塾大学、琉球大学） <small>東京大学／東北大学／大阪大学／九州大学／理化学研究所／University of Cambridge／Max Planck Institute／Stanford University／Scripps Institution of Oceanography, UC San Diego／University of Hawaii／Centre national de la recherche scientifique／Chalmers University of Technology／University of Oxford</small>	【OIST-neXus戦略】 国際卓越性追求、破壊的イノ ベーション創出、沖縄振興、ゲートウェイ機能強化

※連携機関のうち、括弧内は「連携大学」（本事業の経費を活用の上、研究力の強化を図る大学）、
 小文字はその他「参画機関」

※★印は地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業の採択大学

採択大学：12（国立9、公立1、私立2）

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

令和6年度採択大学一覧 (1/3)

※記載内容は提案大学から提出された申請調書を基に記載

国/公/私	提案大学 (連携大学※) 参画機関※	
国立大学 (10)	弘前大学★ Harvard University/Johns Hopkins University/University of Leicester/National Institutes of Health/University of Oklahoma/京都大学/東京大学/筑波大学/東京医科歯科大学/東京工業大学/九州大学/京都府立医科大学/和歌山県立医科大学/名城大学/富山大学/静岡社会健康医学大学院大学/名城大学/秋田大学/岩手大学/岩手医科大学/東北大学	グローバルWell-being共創社会を実現する異分野融合型総合知による革新的卓越研究大学群の構築
	山形大学★ 東北大学/会津大学/福島大学/宮城大学	地域と共創し、持続的な革新技術をもたらす研究大学～サステナブル社会の実現と南東北の地域創生に貢献～
	新潟大学★ (中部大学) 東北大学/大阪大学/量子科学技術研究開発機構/Aarhus University/Indian Institute of Science/University of Bordeaux	未来社会の“脳といのち”と“食と健康”のイノベーションを創出する研究拠点
	長岡技術科学大学★ (大阪公立大学/国際教養大学/新潟薬科大学) 豊橋技術科学大学/国立高等専門学校機構/東京工業大学/長岡造形大学/大阪公立大学工業高等専門学校/The Laboratory for High Power Electronic Systems,ETH Zurich/Resource Research Platform, LUT School of Engineering Science/School of Engineering and Materials Science, Queen Mary University of London/Department of Chemistry, University of Bristol/Institute of Glass and Ceramics, Friedrich-Alexander Universität Erlangen-Nürnberg (FAU)/York Robotics Laboratory, University of York/Department of Automatic Control and Systems Engineering, University of Sheffield	公立大・高専連携による技術科学コンセプトの拡張とソーシャルインパクト創出型SX研究大学の創生
	山梨大学★ (福島大学) 東北大学/東京工業大学/信州大学/京都大学/大阪大学/九州大学/成蹊大学/物質・材料研究機構/技術研究組合 FC-Cubic/山梨県産業技術センター/Simon Fraser University/National University of Malaysia/Technische Universität Braunschweig/Technische Universität München/Universität Bern/Paul Scherrer Institute/Brookhaven National Laboratory/University of California,Merced/The Université du Québec/University of Poitiers/Korea Institute of Energy Research/University Putra Malaysia/Petronas University of Technology	グリーン水素を核に世界屈指の研究力を強化し、グリーンイノベーションで地方創生を先導する

※連携機関のうち、括弧内は「連携大学」(本事業の経費を活用の上、研究力の強化を図る大学)、小文字はその他「参画機関」

※★印は地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業の採択大学

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

令和6年度採択大学一覧（2/3）

※記載内容は提案大学から提出された申請調書を基に記載

国/公/私	提案大学（連携大学※） 参画機関※	
国立大学 (10)	<p>奈良先端科学技術大学院大学</p> <p>株式会社国際電気通信基礎技術研究所／東京工業大学／情報・システム研究機構 国立情報学研究所／物質・材料研究機構／奈良県立医科大学／産業技術総合研究所／情報通信研究機構／University of California, Davis／Eidgenössische Technische Hochschule Zürich／University of Strasbourg／University of Bonn／Friedrich-Alexander-Universität Erlangen-Nürnberg／Universitas Gadjah Mada／IPB University／Universitas Indonesia／Badan Riset dan Inovasi Nasional／Universiti Malaya／Universiti Sains Malaysia／Universiti Tunku Abdul Rahman／Kasetsart University／Chulalongkorn University／Vietnam National University, University of Science／University of Science and Technology of Hanoi／Vietnam Academy of Science and Technology, Institute of Biotechnology／Vietnam Academy of Science and Technology, Institute of Materials Science／University of Philippine, Diliman／Ateneo de Manila University</p>	<p>研究シーズの社会実装をデジタル技術で推進し、国際連携の下で人口減少社会の持続的発展に貢献する大学</p>
	<p>徳島大学</p> <p>宇都宮大学／大阪公立大学／滋賀医科大学／神戸薬科大学／国立循環器病研究センター／Technion - Israel Institute of Technology／神山まるごと高等専門学校</p>	<p>光工学と医学・栄養学および情報科学の研究力を結集し、世界が直面する超高齢社会の課題解決に挑戦する</p>
	<p>九州工業大学★（北九州市立大学／長崎大学）</p> <p>東京大学／東京工業大学／室蘭工業大学／九州大学／情報通信研究機構／宇宙航空研究開発機構／University Putra Malaysia／King Mongkut's University of Technology North Bangkok／National Taiwan University of Science & Technology／City University of New York／Sapienza - Università di Roma／Université de Lorraine</p>	<p>開発フェーズの実行部隊・機能・教育を国内外の大学・企業に提供可能なイノベーション創出大学モデルの構築</p>
	<p>長崎大学★（宮崎大学／鹿児島大学）</p> <p>大阪公立大学／北海道大学／東京大学／国立感染症研究所／国立国際医療研究センター／海洋研究開発機構（JAMSTEC）</p>	<p>プラネタリーヘルスの実現を目指し、世界を牽引する大学へ</p>
	<p>熊本大学★</p> <p>東京大学／東北大学／九州大学／九州工業大学／熊本県立大学／東海大学／国立台湾大学／国立陽明交通大学／国立清華大学／国立成功大学／熊本県産業技術センター</p>	<p>半導体実装から社会共創研究を通じて、地域イノベーションの実現と持続可能な産業都市構築を目指す。</p>

※連携機関のうち、括弧内は「連携大学」（本事業の経費を活用の上、研究力の強化を図る大学）、小文字はその他「参画機関」

※★印は地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業の採択大学

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

令和6年度採択大学一覧 (3/3)

※記載内容は提案大学から提出された申請調書を基に記載

国/公/私	提案大学 (連携大学※) 参画機関※	
公立大学 (1)	<p>横浜市立大学★</p> <p>神奈川大学／神奈川県立保健福祉大学／関東学院大学／慶應義塾大学 SFC研究所／慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科／実中研／東京工業大学／東京大学 先端科学技術研究センター／Stanford University, Center for Asian Health Research and Education／Ruhr University Bochum, the Faculty of Social Science</p>	<p>共創を加速する「よこはまデータサイクル」を構築し、未来社会における高いヘルスウェルビーイングを実現</p>
私立大学 (2)	<p>藤田医科大学★ (浜松医科大学／自然科学研究機構 生理学研究所／岐阜薬科大学)</p> <p>名古屋大学／精神・神経医療研究センター／奈良先端科学技術大学院大学／量子科学研究開発機構／豊橋技術科学大学／University of Helsinki／Eberhard Karls University of Tübingen／Cardiff University／Massachusetts Institute of Technology／University of California, Irvine／Duke University／University of North Carolina／Nanyang Technological University／The Hong Kong University of Science and Technology</p>	<p>世界トップレベルの精神・神経病態研究拠点を形成し、唯一無二のアカデミア創薬エコシステムを確立する</p>
	<p>立命館大学★ (自然科学研究機構 生理学研究所／滋賀医科大学／順天堂大学／大阪体育大学)</p> <p>東京大学／滋賀大学／奈良先端科学技術大学院大学／立命館アジア太平洋大学／産業技術総合研究所／国立長寿医療研究センター</p>	<p>世界を牽引する身体圏研究の研究推進・人材育成拠点となり研究と社会実装を循環させる次世代研究大学となる</p>

※連携機関のうち、括弧内は「連携大学」(本事業の経費を活用の上、研究力の強化を図る大学)、小文字はその他「参画機関」

※★印は地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業の採択大学

提案大学：13 (国立10、公立1、私立2) 連携大学：15 (国立6、公立4、私立4、大学共同利用機関1)

令和6年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」の審査における地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会の総評（抜粋）①

- 各大学からの提案では、大学が自らの課題に真摯に向き合いつつ、10年後に目指す姿を構想し、それに向けて強化が必要な研究分野や社会実装を目指すテーマを見出した上で、研究力の向上戦略とそれを実現するための計画が構想されていました。
- 採択大学については、主に、以下の点について総合的に勘案し、高く評価しました。
 - ① 客観的かつ多面的なアウトプット・アウトカム指標から大学の研究力を十分に分析していること
 - ② 戦略の実現に向けて学長を中心とした取組が着実に実施されるよう、大胆かつ実効的な計画やロードマップを設けていること
 - ③ 大学院改革を含めた、改革について大学全体への波及効果を期待できること
 - ④ 地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する機能や体制が整備されていること
 - ⑤ 地域社会との実効的な連携の下で地域課題解決に貢献しうる計画となっていること
 - ⑥ 他機関との効果的な連携等を通じて自大学の強みを更に発展させる戦略となっていること
 - ⑦ 戦略の推進に必要なガバナンス体制が整備されていること
- 文部科学省及び日本学術振興会には、外部有識者の知見も活用しつつ、各大学の主体的な取組を尊重した、大学に寄りそった支援を求めます。

令和6年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」の審査における地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会の総評（抜粋）②

- 不採択大学についても、学長を中心に全学的な戦略の検討を行い、魅力的な提案を申請されたことは大いに評価しています。特に、昨年度に引き続き申請された大学については、事業推進委員会からのコメント等を踏まえて多くの改善が見られました。しかしながら、戦略やそれを実行するための計画については、その解像度を高めたり、具体化を進めたりするための更なる掘り下げた検討が必要と考えられ、採択件数を事業全体で最終的に最大25件程度としている中で、今回の採択候補として選定しないものと判断しました。
本事業への申請のための全学を挙げた検討が今後の大学の発展に当たっての礎となり、研究大学として引き続き奮励されることを期待します。
- 本委員会ではこの2年間を通じて、最終的に計25件（提案大学：25、連携大学：延べ26）を採択にふさわしい大学として選定しました。
これらの大学群においては、その総体として、これまでの互いに競い合う関係を超えて、個々の特色を際立たせつつ、さらにそれらの成果を、採択されなかった大学を含む大学互いにその取組を共有し協力し合う関係も持つ集団（J-PEAKS大学群）へと発展されることを望みます。
- 伴走支援も活用しながら、大胆かつ実効的な改革を進め、国際卓越研究大学を含めた国内外の大学間での効果的な連携における中核的な存在を担い、日本の研究力を牽引する地域中核・特色ある研究大学へと発展されることを強く期待します。

【参考】地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会 委員名簿

日本学術振興会の下に設置された「地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会」において審査を実施。

- | | |
|---------|------------------------------|
| 上山 隆大 | 総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員 |
| ○ 坂田 一郎 | 東京大学大学院工学系研究科 教授 |
| 佐藤 康博 | 株式会社みずほファイナンシャルグループ 特別顧問 |
| 高橋 真木子 | 金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科 教授 |
| 西村 訓弘 | 三重大学大学院地域イノベーション学研究科 教授 |
| 長谷川 真理子 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長 |
| 波多野 睦子 | 東京工業大学工学院 教授 |
| 福田 秀樹 | 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 機構長 |
| 福田 裕穂 | 公立大学法人秋田県立大学 理事長・学長 |
| 福原 紀彦 | 日本私立学校振興・共済事業団 理事長 |
| ◎ 山崎 光悦 | 福島国際研究教育機構 理事長 |

◎：委員長 ○：副委員長

(50音順・敬称略)

【参考】地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会における審査の過程(令和6年度)

- 令和6年 5月28日(火) 公募開始
6月11日(火) 公募説明会
6月24日(月)
～6月28日(金) 申請意思表明書提出期間
7月29日(月) 申請調書提出期限
8月上旬
～9月下旬 一次審査(書面審査)
10月18日(金) 事業推進委員会(第11回) (一次審査評価結果に基づく二次審査(ヒアリング)対象大学の選定)
11月上旬
～11月中旬 二次審査(ヒアリング)
11月28日(木) 事業推進委員会(第12回) (ヒアリング審査を踏まえた審議)
12月23日(月) サイトビジット
25日(水) サイトビジット
令和7年 1月14日(火) 事業推進委員会(第13回) (採択候補大学の選定)
1月24日(金) 採択大学の決定・公表

※「地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会」については、「事業推進委員会」と記載。